

次世代交通ビジョンおきなわ（仮称）

【令和7年度 第2回 有識者会議】

～骨子の概要と整理方法～

1. 骨子の概要
2. 未来像の整理
3. 交通システムに見られる課題の整理

令和8年2月9日
沖縄県 交通政策課

1. 骨子の概要

1. はじめに

・将来の沖縄の交通の具体像を一つに定める前段階として県民参画のプロセスを通じて、沖縄県が目指す将来の姿や、現在の交通・都市構造が抱える課題を整理したもの。

2. ビジョンの位置づけ

・次世代交通ビジョンおきなわ(仮称)は、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」に即して策定されるビジョンであり、その成果は「沖縄県総合交通体系基本計画」に反映する。

3. 検討プロセスとステップ0・1の県民参画

・本骨子は、ステップ0・1の成果に該当
・県民参画として以下を実施

【オープンハウス】

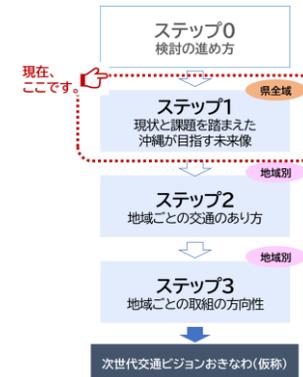
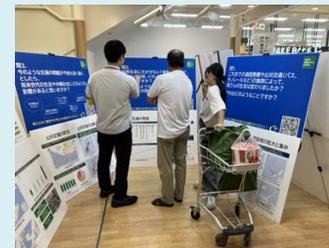
- 2025年11月~12月に開催
- 県内11か所で実施
- 延べ530人の意見を収集

【Web意見投稿フォーム】

- 延べ567件の意見を収集

【子ども・若者モニター】

- 35件の意見を収集



4. 県民が望む未来像

・沖縄21世紀ビジョンの将来像と県民意見をもとに、未来像を4つにまとめた。

(1) 住む地域に関わらず、誰もが、どんなライフステージにおいても、自分らしい生き方や挑戦を選べる社会

(2) 人や地域の力が十分に発揮される、活力ある社会

(3) 心身ともに健やかで、安心して暮らせる社会

(4) 社会の変化に柔軟に対応し、将来世代に引き継ぐことができる社会

5. 未来像の実現に向けた課題

・未来像の実現に照らして、今の交通システムが抱えている課題を整理した。
・また、将来の様々な状況変化が、こうした課題に及ぼす影響についても整理した。

(1) 交通システムに見られる課題

- ① 移動時間の確実性の確保
- ② 生活や活動の場へのつながりの確保
- ③ 安全・安心な移動環境の確保
- ④ 移動に伴う経済的・時間的負担の軽減
- ⑤ 状況に応じて選べる移動手段の確保
- ⑥ 人やモノが動く上での経済性の向上
- ⑦ 交通サービスの使いやすさ・分かりやすさの向上
- ⑧ 交通システムや地域の持続性の確保

影響

(2) 将来の様々な状況変化によりもたらされる影響

- ① 人口減少・少子高齢化が進んだ場合
- ② 都市構造や土地利用が変化した場合
- ③ 観光需要の変動や移住の動きが変化した場合
- ④ エネルギー価格や物価が大きく変動した場合
- ⑤ 新たなモビリティサービスが進展した場合
- ⑥ 気候変動、自然災害等のリスクが高まった場合
- ⑦ 移動需要そのものが大きく変化した場合

6. ステップ2に向けて

・将来の変動要因を考慮しつつ、交通システムに見られる課題に対応するため、沖縄が将来どのような交通システムを目指すべきかを、県民参画をもとに検討

2. 未来像の整理

- ・沖縄21世紀ビジョンの将来像と県民意見から、「交通」を切り口として将来の姿を詳細化し、未来像を整理した。
- ・ステップ1で県として整理した未来像は、ステップ2で県民に提示し、必要に応じて修正する。

沖縄21世紀ビジョン 5つの将来像

- 将来像Ⅰ 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
- 将来像Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
- 将来像Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
- 将来像Ⅳ 世界に開かれた交流と共生の島
- 将来像Ⅴ 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

未来像に関する県民意見

個人の活動に関する意見

- ① 家族・友人との時間
- ② こども・若者の移動
- ③ 余暇・娯楽
- ④ 多様性のある社会
- ⑤ 子育て世代の移動

安全・安心に関する意見

- ⑩ 日常生活での移動
- ⑪ まちの安全
- ⑫ 県民の健康
- ⑬ 地域コミュニティ

地域の活力に関する意見

- ⑥ 新たな文化
- ⑦ 経済振興や格差是正
- ⑧ 地域の自立性
- ⑨ 観光の発展と共存

地域の持続性に関する意見

- ⑭ 多様性のある社会
- ⑮ 歴史文化の尊重
- ⑯ 自然環境の維持
- ⑰ 地球環境の維持

ありたい将来の姿を、交通を切り口に詳細化

多様な主体が、様々な活動を、様々な場所で実施(心豊かで、自分らしく、生きがいをもって活動)できることが求められている

将来像Ⅰ～Ⅴ、県民意見①～⑤

観光や地域の自立などの観点も含め、経済的にも、文化的にも、地域に活力がみなぎる状態が求められている

将来像Ⅲ、県民意見⑥～⑨

安全・安心で、健康的な地域やコミュニティが求められている

将来像Ⅱ、県民意見⑩～⑬

大切な価値を引き継げる持続可能な地域が求められている

将来像Ⅰ、Ⅳ、県民意見⑭～⑰

(1) 住む地域に関わらず、誰もが、どんなライフステージにおいても、自分らしい生き方や挑戦を選べる社会

(2) 人や地域の力が十分に発揮される、活力ある社会

(3) 心身ともに健やかで、安心して暮らせる社会

(4) 社会の変化に柔軟に対応し、将来世代に引き継ぐことができる社会

3. 交通システムに見られる課題の整理

・4つのそれぞれの未来像を実現するにあたり、現在の交通システムが抱えている課題を、県民意見や既存のデータ等をもとに整理し、8項目にとりまとめた。

未来像

(1)住む地域に関わらず、誰もが、どんなライフステージにおいても、自分らしい生き方や挑戦を選べる社会

(2)人や地域の力が十分に発揮される、活力ある社会

(3)心身ともに健やかで、安心して暮らせる社会

(4)社会の変化に柔軟に対応し、将来世代に引き継ぐことができる社会

未来像の実現に向けた交通システムの課題

1) 移動時間の確実性の確保	中南部都市圏中心に渋滞により時間損失	中南部都市圏を中心に渋滞により業務、物流、観光等の効率性が低い		
2) 生活や活動の場へのつながりの確保	北部や一部の離島等、生活に必要な機能や交通手段が不足			
3) 安全・安心な移動環境の確保			日常・非日常含め地域や移動の安全・安心を確保	
4) 移動に伴う経済的・時間的負担の軽減	運賃や料金が高く、送迎者の時間負担が多い			
5) 状況に応じて選べる移動手段の確保	自動車を運転できない人の移動手段が少ない			
6) 人やモノが動く上での経済性の向上		中南部都市圏を中心に渋滞により地域の生産性が低下		
7) 交通サービスの使いやすさ・分かりやすさの向上	道路空間や公共交通が分かりにくく不便			
8) 交通システムや地域の持続性の確保				交通サービスの持続、環境負荷軽減、老朽化対応など地域の持続性を確保